◆婦人会……（担）鈴木千賀委員）
・『みちのだいおはなし会』
「親々に導かれて教えの実行
末代へ続く道」
本芝支部長　白木原　真理
日時　11月26日（木）午後1時～2時
場所　東講堂　託児はありません。
・例会は休会とさせていただきます。
・第31回女子青年大会にご参加、またお声掛けいただきました方、誠にありがとうございました。
・ハーブの会……（担）伊藤善美委員）
休会とさせていただきます。
・女子青年例会……濱東分教会
休会とさせていただきます。
◆青年会・献血担当…（担）杉本真俊委員）
・休会とさせていただきます。また、集金は12月にさせていただきます。
よろしくお願いします。
◆少年会……（担）小田木智嗣委員）
・静岡教区団おつとめまなび総会
とき　11月8日（日）受付9時
おつとめ10時　終了14時
内容　西遠支部は六下り目です。
※詳細は担当までお願いします。
◆広報庶務部……（担）鈴木豊司委員）
・ふれあい折り込み12月は6組です。
◆時報手配り……（担）鈴木豊司委員）
・11月6、20日／12月4、11日拠点教会到着となります。立教190年は1月15日手配り開始です。よろしくお願いいたします。

◇11月 定例支部活動

◆合唱団アヴァンティー練習日
とき　今年度の上平期練習日
11月4日、18日／12月2、16日
会場　鴨江アートセンター（206号）
・団員大募集
おうたを通して教祖の教えを学び、色々な歌を歌って、合わせる楽しみを共にしませんか。
◆あらみち会…（担）山本明久委員）
日時　11月27日（金）
会場　中富分教会
講話　鈴木顕正先生
会場責任者　伊藤忠雄委員
教祖百四十年祭の本年最後のあらみち会です。どうかお一人でも多くの方のご参加お待ちしております。

◇定例委員会・例会

◆運営委員会・・・正岐道分教会
とき　12月3日（木）9時30分
当番委員　長田虎夫委員
◆青年会献血・・・みゅーず
休会とさせていただきます。
◆婦人会・・・・・例会
休会とさせていただきます。

◇各組活動

【1組】……組長　鈴木　豊司（濱　東）
〈配本・集金〉
〈合同会議〉12月5日（土）15時　濱　東
〈ひのきしん〉休会です
【2組】……組長　澤田　常和（愛孝心）
〈配本・集金〉12月8日（火）午後
【3組】……組長　長田　虎夫（濱　都）
〈会長会議〉11月29日（日）10時　濱　都
〈ひのきしん〉日時未定　曳　馬
【4組】……組長　谷口　和幸（四日市浜）
〈合同会議〉12月9日（水）9時30分　四日市浜
【5組】……組長　森田　直晃（和加道）
〈集　金〉11月7日（土）午後　和加道
【6組】……組長　鈴木　顕正（東濱名）
〈配本・集金〉11月5日（木）　東濱名
ふれあい　配布・集金
【7組】……組長　太田　貴之（濱　名）
〈組例会〉12月9日（水）10時　篠　原

西遠支部

【ようぼくのつどい開催　ご案内】

～　教祖 140 年祭を締めくくる　支部行事　～

教祖 140 年祭の年も、残りふた月程となりました。三年千日の年祭活動として取り組んだ「ようぼく一斉活動日」、また本年５月の「静岡教区全支部おぢばがえり」等の行事を通じて、旬の風を活かした支部活動の充実と活性化を目指してまいりましたが、今後もより一層、支部教友の皆様が交流を深め、日々、にをいがけ、おたすけに向き合う気運を高めていただく事を願って、「西遠支部ようぼくの集い」を開催させて頂く運びといたしました。

今回は、この一年を振り返る中で、熊本地震や、各地での記録的な水害などから、私達の周りでいつ起こるかもしれない災害について、災害時の状況や、災害への備えを学び、同時に只今の被災地の一日も早い復興と、これ以上のお見せいただく事の無いよう、心一つにお願いのおつとめをつとめさせて頂きます。
年祭の年を締めくくるべく、賑わいのある支部行事とさせていただきたいと思います。
大勢の皆様のご参加をお待ちいたしております。

日時
11/28（土）　午前10時～ 午後1時（受付 9時30分～）

会場
東濵名分教会
浜松市中央区
天竜川町149-2

参加費
無料
お話の間の託児もできます

内　容

1. **おつとめ**（すわりづとめ）
2. **おはなし**
「災害時、被災地では何が起こるのか？ その時、私たちの行動は？」
「起こりうる災害に対しての備えについて」
講師：天理教災害救援ひのきしん隊本部主事／愛知教区災害救援ひのきしん隊隊長
名市分教会会長　**青木　総平　先生**
3. **芋煮会ほか**（炊き出し体験を兼ねて）



＊右の QR コードを読み取り、申込フォームから申し込みください。
＊用紙での申し込みは 10 月にお配りした案内チラシにご記入の上、各組長さんまで提出下さい。

▲ 申込フォーム

＊申し込み締め切りは 11 月 21 日とさせていただきます。大勢の皆様にお声がけいただきご参加をお促し下さいますようお願いいたします。

ふれあい
2026年
11月号
No.507
よのもと会
西遠支部

このさきハたすけ一ぢよにかゝりたら
どのよなものもいさむばかりや
第八号―69

〈第４回　ようぼく一斉活動日　講話より〉
《白熊　繁一 先生》



（前回より）

私は若いころに夫婦でブラジルに渡り、海外布教の一端をつとめた経験があります。私が赴任したところはサンパウロという大都会にある教会でしたけれども、その部内教会が遠方の田舎町にありまして、時々その教会をお訪ねいたしました。見渡す限りの赤土の大地に囲まれた丘にですね、ポツンと建つ教会です。夕づとめに合わせて村の人たちが、トボトボトボと歩いて参拝に来られます。ご年配の女性の教会長さんが参拝に来られた人たちに、次々とおさづけを取り次がれる場面を目の当たりにいたしました。その会長さんは、「おやさま、と念じたら、おぢばからこんなに遠いところまで教祖がお越しくださるんやで。ご存命の教祖のお陰でみんな助けていただけるんや。」とにこやかに、私たち夫婦に話してくださいました。私たち夫婦も、わずか3年ですけれどもブラジルでお助けにつとめさせていただきながら、不思議な助けを数々見せていただきました。私が若き日の布教仲間は、日本国内はもとより、アメリカ大陸、アフリカ大陸、東南アジア諸国へと、時を同じくして布教に行っておりましたが、皆が同じように世界中で教祖を感じ、人が助かっていく御守護の姿を見ています。

先ほど、つらさ・苦しさ・悲しさが先に立った生き方から、どんな中にも“ありがたさ”がある ことに気づき、生き方を転換したR子さんのお話をいたしました。このR子さんから昨年の秋に突然電話がかかってきました。「先生、大変なことになったんです。会社の健診で癌の疑いがあると言われたんです。再検査が必要と言われたので近々大きな病院で診てもらいます。」と、こういう電話でした。そのあとで「先生、私先生と約束して一生懸命喜び探しの日々を過ごしていたんですよ。」とこう、これがついに来ました。そして途中から泣き声に変わりました。私は、「まだそうと決まったわけではないし、もしそうだとしても早期発見ならありがたいじゃないですか。あなたの喜び探しの日々は決して無駄にはなっていませんよ。」とお伝えして、「これからね、私の教会でもあなたのお願いづとめを、みんなのお願いづとめに併せてあなたの事もお願いさせてもらいますね。」とお約束いたしました。それから数日後にも暗い電話がありました。不安な様子をですね、伝えてきました。その時に私は、「あなたは私と出会ってから、少しずつ信仰の階段を上ってきましたよね。今は教祖百四十年祭に向かうとても大切な時なんです。親神様はあなたにここでもう一歩、信仰のステップアップをしてほしいと思われているのではないかな、と思うんですよ。」とお伝えし、「あなたは、おさづけを取り次いだことがありますか？」と聞きました。「子供が小さいときは、熱を出したりお腹を壊したりしたときに取り次いだことがあります。でも今はあまり信仰を受け入れないんです。」と返事が返ってきました。私は「親神様は『人救けて我が身救かる』と教えてくださいます。今、癌の疑いがあると言われたあなたが、この機会に真剣に子供さんに向き合ってみたらどうかと思うんです。

（次号へつづく）

支部だより

立教189年
R8.11
NO.613

◇表統領挨拶

こんにちは、教区の上にご尽力賜りまして、本当にありがとうございます。

いよいよ明日は秋の大祭を迎え、早いもので今年も残すところは2カ月余りというところになりました。年初に教祖１４０年祭をつとめさせていただいて９カ月が経つわけであります。この時期になりますと、来年の活動方針であるとかいろいろとご検討いただいている時期じゃないかと思います。

明日は真柱様の言葉も聞かせていただいて、そしてまたその上でご検討を重ねられると思います。

先ほど既に発表しております。来年行う「教会長教義講習会」について説明会を行いました。この時期に教義講習会ということ、もちろん思いはいろいろとございますが、教祖が現身をもってお働きくださった時代からどんどん年月が進み、教えを正しくまっすぐにということは思いながらも、どうしても苦手なところは省いたり、あるいは自分の言いやすい言葉で、極端に言えば自分流の言い方をしてみたり、そういうことが気づかないうちにもあるのだと思います。しかし、やっぱりそこは人間心を混ぜてはいけないわけで、しっかり教祖の教えを正面から捉えて、言いにくい、わからないところはしっかり勉強し、また人に習い、あるいは練り合い、しっかり心に収めて伝えていく努力をしなければならないことは申すまでもありません。改めて教祖１５０年祭、また立教２００年という大きな節目を迎える前にあって、基本から勉強する場を持って、内容的なことも去ることながら、まずその姿勢でこれから向かわせていただこうというようなところも一つ大きな意味としてあると思っております。ですので、教義講習会が聞いた話や、またお話やという方もおられると思います。しかしそのもう一つの部分も一歩二歩のところ、それをどう伝えるかということも想定しながらしっかりこれから勉強し直して、そして教祖に安心して任せていただけるようなところを目指して1いきたいと思います。そういう時期を迎えていますので、何かの時にはそういうことをご承知いただいて、行事などをお考えいただければありがたいと思います。

他にもまたこういう時期ですので、これからいろいろと一段していくこともございます。けれどもその意味合いをしっかりとご支援いただくことを改めてお願いを申し上げたいと思います。

大祭後、27日には青年会総会、そして来月1日には女子青年大会と続きます。また議題にもありますが、来年の活動もいろいろございます。例年のことですけれども、しかし、やっぱりそこに来る参加者は年々変わっていっているということを私たち年配の者は忘れずに新鮮な気持ちで迎えさせていただきたいと思います。

その点もよくご理解賜りますようにお願いを申し上げたいと思います以上です。今日はまた議題もありますので、よろしくお願い申し上げます。

◇本部・教区事項

・『発達障害のグレーゾーンを知る』
　とき　11月26日（木）13時30～16時45分
　場所　おやさとやかた南右第二棟
　御供　１０００円　〆切　11月15日
・にをいがけドリル
『行ってみよう戸別訪問（実働）』
・ワークを行い、個別訪問に歩きます
・皆で楽しみながら、にをいがけに歩きましょう
　とき　11月26日（木）
　場所　南右第二棟3階

◇支部事項

◆布教部……（担）長田虎夫委員）
・にをいがけ日和が続いております。今月も勇ませていただきましょう。
◆教務部……（担）吉岡弘和委員）
・年末調整について分からないことがあればご連絡ください。
◆災救隊……（担）水野慎治委員）
・2月27、28日に東海ブロック合同訓練を開催します。
　27日　8時30分集合／28日　16時解散